第38回きらっせ祭り 緊急時避難計画

きらっせ祭り実行委員会

津波等発生時の避難対策

- 1. 波崎海水浴場東側避難路の確保と警備体制強化
- 2. 波崎海水浴場西側避難路の確保と警備体制強化
- 3. 漁港避難路の確保と警備体制強化
- 4. メイン会場内における避難周知活動
- 5. 緊急時の対応マニュアルと連絡体制

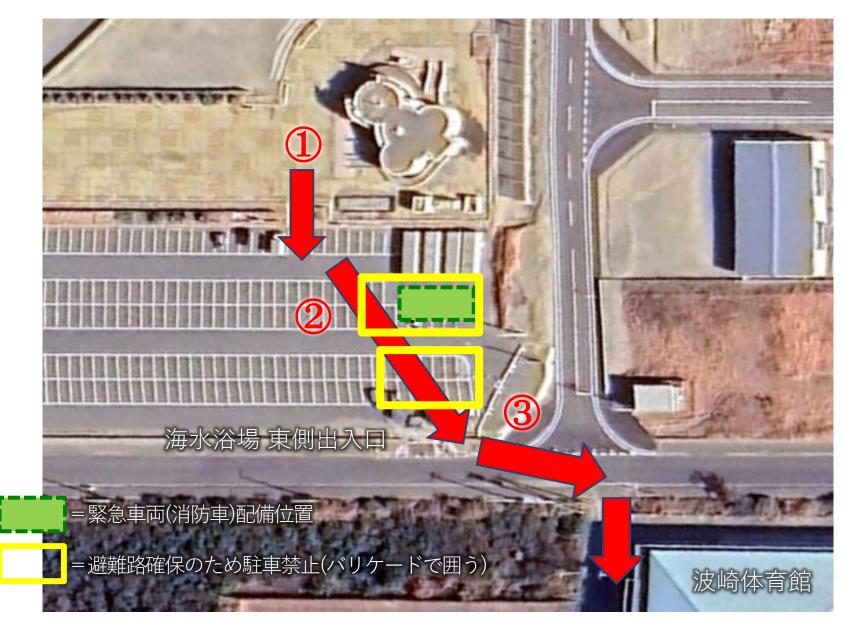
津波等発生時の避難対策を計画する上での避難条件

- 徒歩による避難を前提とする。
- ・ 避難開始時間は発災から10分後、最初の津波到達は発災から40 分後で想定、実質的な避難猶予時間は30分間とする。
- ・ 避難時の歩行速度は夜間であること、お年寄りや子供が多いことを考慮し、もっとも遅い避難者の歩行速度を東日本大震災時の平均歩行速度(0.74m/s)の約1/3(0.25m/s)で想定、もっとも遅い方でも30分間で約450m内陸地へ避難できるものとする。
- 最終目的避難場所までの直線距離及び収容人数
 - ①波崎東ふれあいセンター(旧波崎東小)
 - (約440m)屋外11500人、屋内4700人
 - ②波崎灯台跡公園(約500m)4400人

波崎海水浴場における避難路



(1) 1. 東側避難路及び警備体制(波崎海水浴場駐車場内)



(1) 2. 東側避難路及び警備体制(波崎体育館周辺)



(2) 1. 西側避難路及び警備体制(波崎海水浴場駐車場内)



(2) 2. 西側避難路及び警備体制(生涯学習センター前)



3. 漁港避難路及び警備体制

